



# ワン☆スター

No. 27

平成30年11月29日(木)発行  
大田区立松仙小学校  
研究推進部 裏研究推進だより



## 2年生 話題提供授業 協議会まとめ

(文責：高濱先生)

### ☆視点などの提示について☆

- ・ 掲示してあって分かりやすかった。
- ・ 視点を明確にもって子供たちは話し合いを進めていた。
- ・ 大胆にするが人気だった。
- ・ 資料、視点などを視覚的に提示したので、話し合いもすすんだ。

### ☆めあて～見通しについて☆

- ・ めあて・見通しの立て方  
→Mくんが16等分と言っていた。ボックスチャートのことかもしれないが不明。そのまま進んだ。
- ・ 話し合いの方法を確認する際の発問  
→また意味を取り違えた児童がいた。
- ・ 時間をもっとかけてもよかった。

### ☆視点と思いの両立☆

- ・ 浮世絵に重点が移っているように思う。
- ・ 浮世絵らしさと自分たちの思いのつながりが不明確では。
- ・ 浮世絵と松仙のよさがどのようにつながるのか。

佐藤先生から～浮世絵に決まった経緯～  
アートというところから課題を作った。子供たちの伝えたい思いは、卒業を意識して松仙の思い出・いいところだった。表現の幅が広がるということで浮世絵になった。

### ☆話し合いの仕方について☆

- ・ 画用紙にふせんを貼るグループ、直接絵に描きこむグループなどあった。→自分たちで話し合いの仕方を選ぶように、今回は話し合いの仕方を統一しなかった。
- ・ 佐藤先生が来て視点を整理したり、季節感のことをアドバイスして流れたのがよかった。

### ☆浮世絵らしさの伝え方について☆

- ・ 浮世絵の理解度→大胆・余白などのことが言葉で子供同士で伝わるのか。自分の考えていることを絵で描いて伝えることもよいのかな。

### ☆梅丸先生タイム☆

- ・ 現状、版にするためにどこを残すか、という感覚がない。絵を描くのと感覚が違うので、それを精査する時間が必要。
- ・ 浮世絵らしさについて。ポイントが意識できていれば、出来上がったものがらしくなくてもよい。浮世絵らしさというのは、後から理屈がついたもの(当時の道具の違い。)



## 指導・講評

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

### 渋谷 一典 先生

・色々な教科の色合いの強い総合的な学習の時間がある。図画工作の色合いが濃い総合的な学習の時間の授業は初めて見た。

- ・ 27 : 30……第一ラウンドで貼られていた付箋の数が、課題27 成果30だった。もう少し細かい内訳はこのように(↓)なる。今日は深い学びに目を向けるとよい。

課題	付箋の色	成果
9	緑	5
7	赤	18
11	蒼	7

- ・ 成果……改善点に意識が置かれている。対話が多かった。自分たちが向かっていく絵の変化が見られた。
- ・ 課題……絵の得意な子とそうではない子の温度差を気にしていた先生が多かった。

#### ☆深い学びについて☆

・ 深い学びをするときに、どこに向かっていきやすい授業なのかを考えるとよい。今日は感性を働かせて思いや考えをもとに豊かに意味や価値を創造していくということに関連が深い。

- ・ この授業では子供たちは4つの視点が明確になってやることがクリアーだった。

・ 季節ごとに2枚の絵を描いているが、どうして自分たちはその絵を選んだかということが今日は見えづらかった。

・ 既知の知識と結び付けて知識技能の質を高めていく場面が見えていれば、深い学びになった。意図的に作ると子供たちの知が更新される。

- ・ 4つの視점에共通していることは？→シンプル、分かりやすい、見やすい等。

何のために浮世絵を作ったか？→感性を揺さぶられて表現したいと思ったからだと思う。

・ ポイントは、4つの視点を自分たちの思いを伝えるためにどう生かしていくかということだったんじゃないか。

・ 子供たちが自分の学習にしていきながら、対象そのものの知識・技能を獲得していたのはとても大切。それを活用してどう生かしていくのか。どのように生かしていくのかを子供たちが明確にできれば、今回の学習指導要領の内容に近づけるのではないか。

・ いずれにしても、学習を深めるためには、対象(GTなど)がもっている知識は子供たちに落としていけないといけない。他学年で行うときにも全体計画などで計画していくとよい。

佐藤先生の謝辞

浮世絵は日本のアートで世界中に知られており、やる意味がある。北千束で浮世絵の版元(世界で5か所!)があり、一緒に取り組んでくれることになった。浮世絵は割と何でもありだが、子供たちが探求していくにあたって大雑把になってしまうので4つの視点に絞った。これから自分のしたいことを突き詰めていきたい。

佐藤先生お疲れさまでした。

これからどのような松仙八景になるのか楽しみです。渋谷先生には深い学びに向かうために子供の思い・知識技能の活用についてもご指導いただきました。梅丸先生の浮世絵に関する話もとても勉強になりました。